

地域の概要及び課題

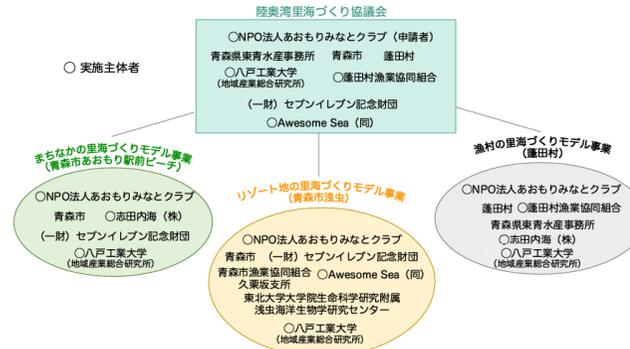
【地域の概要】

- 陸奥湾：閉鎖性海域で静穏性も高く、海草アマモが広範に繁茂している。
- あおり駅前ビーチ：あおり駅すぐそばの人工海浜。
- 青森市浅虫：夕日を眺めれるビーチがあり、温泉街は 1200 年以上の歴史がある。浅虫夏泊県立自然公園の一角。
- 蓬田村：青森市の隣に位置、自然豊かで山菜などの山の幸やホタテ貝、ナマコなどの海の幸にも恵まれた村。

【課題】

- 陸奥湾、蓬田村：アマモ場の減少により、ナマコなどの水産資源が枯渇。
- あおり駅前ビーチ：ビーチ清掃、アマモ場保全活動など、継続的な環境整備の資金源が不足。
- 青森市浅虫：観光産業が衰退、地域の労働人口の減少、高齢化。

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン



活動地名
青森県青森市
東津軽郡蓬田村



R6年度モデル事業における取組内容および成果

あおり駅前ビーチ生物調査

- 小型定置網を用いて水産動物を調査し、26種類の魚類を確認。



【成果】

この調査を基に自然共生サイトに申請することができた。

ウニの陸上養殖試験（浅虫）

- 地ビール製造で発生する大麦麦芽酒粕（地域資源）を餌に磯焼け対策から採取したウニ（地域資源）を飼育。



【成果】

地域資源を活用した新たな里海（地域特産）づくりの方向を示した。地元企業がスタートアップ事業として動き始めた。

アマモ場保全活動（スゲアマモ花枝採取）

- 青森市、蓬田村に提供するスゲアマモの種子を確保するために、野辺地町において花枝を採取。

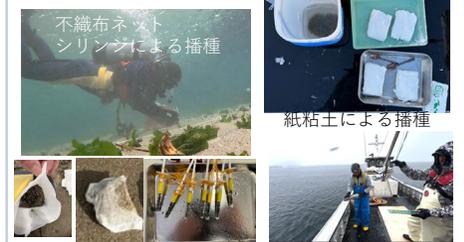


【成果】

採取した播種から種子を選別し、あおり駅前ビーチ、青森市浅虫、蓬田村にて播種活動ができた。

アマモ場保全活動（スゲアマモ播種）

- あおり駅前ビーチ、青森市浅虫蓬田村にて、スゲアマモの種子を播種。



【成果】

里海、アマモ場づくりの活動を具体化した。

今後の課題および取組方針

- あおり駅前ビーチ：消失したアマモ場を回復する。多様な連携をしてあおり駅前ビーチの里海づくりを促進し、発信していく。
- 青森市浅虫：自然共生サイトの申請の目処が立った。観光客にPRするため、地元観光協会や旅館組合などと連携していく。
- 蓬田村：自然共生サイトの申請の目処が立った。申請候補地の動植物種をより詳しく調査する必要がある。また、磯焼け対策として駆除したウニ活用について、青森市浅虫で行なったウニの陸上養殖を参考に取組んでいく。
- これらの取組を継続的に進んでいくためには、地域と地域を結ぶ、人材もしくは組織が不可欠であり、人件費や組織継続に人件費などの経費が必要なため、どうやって捻出するかが課題。